

広島大学短期交換留学(HUSA)プログラム 派遣留学報告書

| | | | | |
|---------------------------------|---|-----------------------------------|----------------------------|-------------|
| | 記入日 | 平成 26 年 7 月 1 日 | | |
| 所属学部・研究科 | 法学部 3 年次(留学開始時点) | | | |
| 留学先大学 | ネバダ大学リノ校(国名:アメリカ合衆国) | | | |
| 所属学部・学科等名 | 国際関係学部 | | | |
| 在籍身分 | 交換留学生 | | | |
| 留学期間 | 平成 25 年 8 月 26 日～ | 平成 26 年 5 月 23 日 | | |
| 1. 渡航について | | | | |
| ビザについて | ビザの種類: J-1 ビザ | | | |
| | ビザ申請先: 米国総領事館 大阪 | | | |
| | 取得方法, 提出書類: パスポート、ビザ申請用紙 DS-156、ビザ申請書の支払い証明書、顔写真、SEVIS 費確認書、ビザ補足申請用紙 DS-157 | | | |
| | 手続きに要した日数: 約 3 か月 | | | |
| その他必要な 事前手続き | 保険の申し込み、住居を決めることなど | | | |
| 出国年月日 | 平成 25 年 8 月 14 日 | | | |
| 経路 | 大阪→仁川国際空港(韓国)→サンフランシスコ国際空港(カリフォルニア州) | | | |
| 現地での出迎え | 有(・大学関係者 ・その他 友人) | | | |
| 到着後オリエンテーションの 実施状況・ 期間・内容 | 8/26 頃に OISS (Office of International Student and Scholars) のオフィスで他の留学生とともに実施された。入学までにしなければいけない手続きや、学校の施設について説明があった。また、留学生は英語のテストを受けなければならない。 | | | |
| 帰国年月日 | 平成 26 年 6 月 17 日 | | | |
| 経路 | ラスベガス(ネバダ州)→フランクフルト国際空港(ドイツ)→上海国際空港(中国)→福岡空港 | | | |
| 2. 留学経費について | | | | |
| 所要 経費 | 総額 | 140 万 | 円 | |
| | 内訳 | 渡航費 | 200,000 | 円 |
| | | 保険料 | 300,000 | 円 |
| | | 教科書代(学費) | 80,000 | 円 |
| | | 宿舍費 | 527,000 | 円 |
| | | 食費 | 30,000 | 円 |
| | | その他(ジム 費)(旅行 費) (衣料・雑貨 費) | 16,000 15,000 50,000 | 円 円 円 |
| 3. 授業について | | | | |

| | |
|------------------------------|---|
| 2013年 秋 学期 | 8 月 28 日 ~ 12 月 20 日 |
| 2014年 春 学期 | 1 月 14 日 ~ 5 月 20 日 |
| 年 学期 | 月 日 ~ 月 日 |
| 年 学期 | 月 日 ~ 月 日 |
| 授業の概要について(カリキュラム, プログラム等) | 単位交換可能な交換留学制度で、国際関係学部のアカデミックの授業を受けた。 |
| 単位互換希望の有無 | なし 期限を過ぎたため。 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること |
| 学術面に関する後輩へのアドバイス | 授業についていくのが大変なため、留学前から専門の語彙や文章を書く技術を向上させておくべきである。 |
| 4. 生活等について | |
| (1) 留学先の住居について | |
| 住居の種類 | <input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他() |
| 住居の広さ | 約 20 m ² 同居人の有 <input checked="" type="checkbox"/> 有(5 人) <input type="checkbox"/> 無 無 |
| 住居に附属する設備 | <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他() |
| 住居費 | 1ヶ月当たり 658ドル (現地通貨) 約 67000 円 |
| 住居を決定した方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他() |
| 留学先での住居全般に関するアドバイス | ネバダ大学のカナダホールは、寮の中では新しく、広くてキッチン付なので人気があります。ただ、ベッドルームを2人でシェア、キッチン、リビングを6人でシェアなのでプライバシーを大切にしたい人には向いていないかもしれません。 |
| (2) 医療について | |
| 1日以上入院を要する病気・怪我等を | <input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった |
| 入院した場合 | により 日入院 |
| 留学に当たり保険を | <input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった |
| 掛けた場合 | <input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他() |
| 掛け金は | 年間 300,000 円 補償額 死亡 10,000,000 円, 入院1日 円 その他() |
| 留学前後での予防接種の必要の有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名 | ネバダ大学内の病院 |
| 日常的な健康について不安が | <input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由: |
| 留学先国の医療事情 (日本と比較して) | 風邪を引いた時はドラッグストアで薬を買っていました。規制が弱く、強い薬もドラッグストアで買えるので、副作用や成分に注意が必要です。 |

| | | |
|---|---|------|
| 留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと | 夏が特に乾燥していて、風邪を引きやすい環境だと思います。適度な運動、気候に合った服装、栄養のある食べ物などに気をつけるとよいと思います。 | |
| (3) 危険を感じた地域, 状況 | | |
| 大学近くで女性が連れ去られたり、銃の乱射事件がありました。命を守るためにも男女関係なく夜10時以降は絶対に一人で出歩かないようにする必要があります。 | | |
| (4) その他生活等に関して参考となる事項 | | |
| 友人がクレジットカード情報をスキャンされ、私もインターネットウイルスを介して不正利用されました。信頼の置けるところでしか使わない、明細を細かくチェックするなど、クレジットカードの保管や利用には注意が必要です。 | | |
| 5. 帰国後の進路について | | |
| 卒業予定年月 | 平成27年 9月 (当初の卒業予定年月 平成27年 3月) | |
| 卒業が遅れる見込みの場合, その理由 | <input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input checked="" type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に) | |
| 現在の状況および今後の予定・進路等 | 帰国後、就職活動にすぐ入って行くことが難しかったことと、もう少し進路を考えたいというがあるので、卒業をのばし、新卒で卒業したいと思っています。 | |
| 就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫 | 私はできていなかったのですが、留学前に単位をほとんど取り終わっている人は留学後の就職活動が比較的スムーズにいらっていると感じました。あと、4年で卒業したい人は、単位を留学前にとり終わって、就職活動を留学先で始めるとよいと思います。 | |
| 6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等 | | |
| 書籍, サイト名 | 詳細(出版社, URL等) | コメント |
| | | |
| | | |
| | | |
| 7. 自由記述(後輩へのアドバイス等) | | |
| <p>あまり、日本に帰国してからのことを早いうちから考えなくてもよいと思います。留学中に可能性が広がり、視野も変わってくると思っています。</p> <p>留学前、留学中、帰国後のことは、自分で考えて、自分にしかできない留学を作ってください。HUSA はやりたいことを実現させる機会を与えてくれる留学プログラムだと思います。</p> | | |

学習の概要に関するレポート

私は広島大学では法学部に所属しており、ネバダ大学では政治などで共通する国際関係学部にも所属しました。J-1ビザの規則で、交換留学生は1セメスターに12単位以上取得しなくてはなりません。私は前期4つ、後期4つで合計8つの授業(24単位)を取りました。試験前など忙しい時期もありましたが、その時以外は余裕をもって生活を送れました。先生がフレンドリーで、生徒の発言が多く、成績は中間試験、期末試験、授業での発言、レポートなどすべてを考慮して出されます。最初の授業で先生に挨拶をしに行き、その後もオフィスアワーに積極的に訪れるとよいと思います。試験では通常、先生に事前に尋ねれば電子辞書を使うことができました。

| 秋学期 | 春学期 |
|--|---|
| 国際政治 EU 東アジアの歴史 I Listening ESL class Writing ESL class | 世界政治 東アジアの歴史 II アメリカの政策決定 Speaking ESL class |

EUの政治の授業では、予習として読む文章の量が多く、少人数グループでのディスカッションやクラスワークが多くありました。一人一人の学生がEUの国一国を代表し、実際に外交や議会の討論に挑戦しました。体を動かして学ぶというユニークな授業を受けることができよかったです。東アジアの歴史では、中国を中心として、1400年ごろまでの東アジアの歴史や、政治関係を、講義・教科書を通じて学びました。また、前期は学部留学生用の英語の授業を2つ受けました。学部留学生は到着後オリエンテーションで英語のテストを受け、その成績によって英語の授業を受けるべきか決められます。授業が、英語学習のモチベーションを上げるのに役立ち、友達を作る機会となったので、ESLのクラスを受講してよかったですと思います。

後期の世界政治の授業では、講義とは別にグループに分かれてインターネット上で国を作り、政策決定や外交を行うというプロジェクトがありました。積極的に授業に参加する姿勢と、こつこつ知識を蓄える両面が必要とされ、ついていくのがかなり難しかったです。クラスメイトはアメリカの戦争の歴史や、現在の世界政治について幅広い知識を持っており、アメリカの視点からみた緊張感や現実感のある世界政治を学ぶことができました。

HUSAプログラムでは、行ってすぐに、受けたい授業を現地の学生と同じ条件下で受けることができるのが魅力だと思います。ただ、事前に指導があるわけではなく、すぐに現地の学生の中に入っていくので、アメリカの授業のスタイルや評価される部分を、授業を受ける前に事前に知っておき、対策をしておくと、スムーズにしていけるとと思います。授業を受けて単位を取得しても、それが広島大学の単位とされるとは限らないので、事前に広島大学で単位交換を希望する授業をよく調べておくとよいです。私はそれをしていなかったのが単位交換をするのが難しい状況です。授業スタイルは先生によって異なるため、まずは現地の担当アドバイザーとよく話して、取りたい授業が決まったら、先生に会いに行き、何が必要なか聞き、ついていけるように努力するという熱意を伝えるとよいと思います。



生活の概要に関するレポート

住居について:私はネバダ大学リノ校内にあるカナダホールという寮に住んでいました。女の子6人でキッチン、リビング、2つのバスルームを共有し、2人でベッドルームを共有していました。私以外は全員アメリカ人で、英語の環境を望んで選んだ場所でした。家賃は6万~7万と高めですが、光熱費・インターネット込みで、セキュリティもしっかりしているので安心だと思います。寮の中でキッチンがあるのがこの寮だけなので、自炊をしたいという方はここがお勧めです。2年生以上からしか入れない寮だったので比較的静かで落ち着いており、ここで友人を作ることもできて、過ごしやすかったです。しかし、一人部屋がなくプライバシーに欠けるため、住居を選ぶ際は何を重視するかによると思います。また、寮の問題点として、期末試験後すぐに閉館するため、長期休暇中は外に出なくてはなりません。私はホストファミリーの家に泊まったり、旅行をしたりしていました。留学生用のシェアハウスや、自分でアパートを借りるという選択もあるため、長所、短所を考慮して、住む場所を選ぶとよいと思います。

衣類について:車・バスで30分位のところに大きなショッピングモールがあり、安く売ってあるため、衣類はあまり持っていかなくてよかったです。夏は暑く、冬は寒い上に、一日のうちでも気温の変化が多いです。インナーやアウターで体温調節ができる、カジュアルな服を持っていくか、リノで買うとよいと思います。歩きやすい靴、リュックは必須です。

食事について:一番近くのスーパーが車で10分位の距離にあります。寮がキッチン付きだったので、友人に頼んで買い物に連れて行ってもらい、料理をしていました。必需品の値段は日本と同じかそれ以下で、大量に入っているものを分けると安くなります。留学生は学部一年生となり、ミールプランに入ることが求められます。値段が高いですが、バイキング形式で、バランスはいいと思うので、もしキッチンがないところに住む場合は加入して問題ないと思います。私は自炊がしたかったので、学校が始まる前に、年齢を理由に解約してもらいました。

放課後・休日は、図書館で勉強や、会話パートナーと会う、ジムに行く、ルームメイトと交流するなどしており、日本語サークル、国際交流サークルに入っていました。休日はホストファミリーを訪ねたり、旅行したり、ボランティアをしたり、様々なイベントに行ったりしていました。リノにはカジノをはじめとして、美術館、博物館、カフェなどエンターテイメント施設が多くあります。サンフランシスコまでバスで4時間、レイクタホまで車で30分と、旅行へも気軽に行けます。平日はよく勉強し、休日は思いっきり遊んで、メリハリある生活を送ることができる場所です。

